

## 特定施設入居者生活介護（未来型介護モデル施設）に係る 実施事業者公募の実施について

### 1. 公募の趣旨

介護人材不足への対応のため、国家戦略特区制度も活用し、令和2年度にテクノロジーを活用した業務改善手法「北九州モデル」を構築した。

令和3年度には推進拠点として「北九州市介護ロボット等導入支援・普及促進センター」を設置し、その普及に取り組んでいる。

国は、「第9期介護保険事業(支援)計画の基本指針(案)」において、介護現場の生産性の向上のため、「発信力のあるモデル施設・事業所を地域で育成し、周辺に取組を伝播させていくなど、自治体が主導し、地域全体で取組を推進していく必要がある」と規定しており、取組の地域全体への波及が求められている。

については、先進的介護「北九州モデル」の構築・普及促進に取り組む中で培った業務省力化のノウハウや先進テクノロジーへの対応、人材育成等を、地域全体に還元することを目的として未来型介護モデル施設の整備を行う。

### 2. 公募施設

特定施設入居者生活介護（介護付有料老人ホーム）

- ・公募数：1事業所 定員80名（上限）
- ・募集圏域：北九州市内全域

### 3. 特徴的な機能要件と提案イメージについて

#### (1) 革新的な運営

継続した業務改善による業務の省力化、業務仕分けと職種に応じた最適な業務スタイルの確立、間接的な業務への介護助手の活用 など

#### (2) 先進テクノロジー

利用者の快適性や介護職員の作業の効率化・身体的負担軽減に寄与する介護ロボットやICT機器の活用 など

#### (3) 人材育成

テクノロジーの活用を前提とした職員教育や、データやAI等の活用による科学的介護を実践できる専門人材の育成 など

#### (4) 発信力

効率的な施設運用ノウハウや業務改善手法に関する情報発信、地域の事業所を対象とした研修会や人材育成講座の開催 など

#### 4. 整備事業者の選定について

- ・市の内外を問わず事業者を公募
- ・未来型介護モデル施設審査委員会（第三者機関）において専門的な検討を行い、事業者を選定

#### 5. 整備支援について

- ・整備補助金はなし
- ・施設開設準備経費については、福岡県の「介護施設等の施設開設準備経費支援事業」を活用可能（定員 80 名で最大 5,848 万円）

#### 6. 本市との連携について

整備事業者の決定後は、北九州市と整備事業者間において、未来型介護モデル施設の役割と取組内容を明文化した連携協定を締結し、地域全体の介護現場の生産性向上につながる取組について、着実な遂行をフォローアップしていく。

#### 7. スケジュール

令和6年 7月 1日	公募開始
令和6年 8月30日	応募書類の提出期限
令和6年 9月上旬 ～10月下旬	書類審査・ヒアリング
令和6年10月下旬 ～11月下旬	学識経験者等で構成された第三者機関での専門的な検討
令和6年12月上旬 ～12月下旬	整備事業者の決定・公表
～令和8年3月下旬	施設建築 連携協定の締結 介護保険法に基づく指定申請など
～令和8年4月1日	介護保険法に基づく指定（事業開始）